

## 平成25年度 水道事業決算状況

### 1 事業の概況

#### (1) 給水状況

平成25年度における給水人口は585,491人で、平成24年度に比べ4,337人(0.75%)の増、給水世帯数は264,038世帯で、前年度に比べ4,183世帯(1.61%)の増となりました。

また、年間配水量は64,663,855 m<sup>3</sup>で、平成24年度に比べ594,604 m<sup>3</sup>(△0.91%)の減少となり、有収水量は58,390,050 m<sup>3</sup>で、有収率は90.30%となりました。

#### (2) 建設改良事業

平成25年度の拡張事業は、922,972,104円を投じ、安定給水の向上と災害時等の給水対策のため、管網未整備路線の出水不良の改善と区画整理地区において管の布設を必要とする箇所を対象に、配水管布設工事を行ったほか、鶴ヶ丸加圧ポンプ設置工事等の浄配水場整備工事を実施し、口径75～600mmの配水管7,716mを布設しました。

一方、改良事業では、2,636,291,346円を投じ、老朽铸铁管等の更新のため配水管布設工事を行ったほか、浄配水場の整備工事を行い、口径75～800mmの配水管等8,121mを布設しました。

なお、改良事業の浄配水場整備工事は、老朽化した施設の更新を行っており、平成24年度から平成25年度の2ヶ年継続事業である上青木浄水場ほか遠隔制御装置等更新工事のほか、神根浄水場9号井堀替工事、鳩ヶ谷浄水場次亜塩素酸ソーダ注入設備設置工事等を行いました。

### 2 経理の状況

#### (1) 収益的収支の状況(消費税及び地方消費税抜き)

収益的収入における総収益は11,092,380,211円で、平成24年度に比べ182,497,937円(1.67%)の増となりました。この増加の主な理由は、水道利用加入金の増加によるものです。

一方、支出に係る費用総額は10,051,840,114円で、平成24年度に比べ113,112,233円(1.14%)の増となりました。増加の主な内容は、営業費用の減価償却費及び資産減耗費並びに特別損失に計上した過年度分減価償却費によるものです。

以上、収益的収支において当年度純利益1,040,540,097円の計上となりました。

#### (2) 資本的収支の状況(消費税及び地方消費税込み)

資本的収支の総額は4,888,554,525円で、内容は建設改良費3,573,409,390円と企業債償還金1,315,145,135円で、これに対する収支総額は1,188,677,051円で、内訳は、企業債1,006,000,000円、固定資産売却代金505,296円、受託工事収入56,826,000円、一般会計負担金47,085,755円、国庫補助金78,260,000円等となっております。

これに伴う収支不足額3,699,877,474円は、減債積立金870,000,000円、過年度分損益勘定留保資金2,672,879,377円及び平成25年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額156,998,097円で補てんしました。